



# 男体

第42号  
平成18年1月1日発行

## あけまして おめでとう ございます

あけましておめでとう。今年はジャンボリーのあ  
る年です。各地区は、準備で忙しくなりますね。

派遣隊長は参加隊員の所属する隊長に次のことを  
お願いしてみたいかがですか。

「食事が作れる事」「テントが張れる事」「新し  
い仲間と上手に付き合える事」この3つを身につけ  
て参加すること。



まず1つめの食事の件では、  
薪の割り方（怪我）、火の燃や  
し方（調理とのバランス）。

2つめのテントの張り方は各  
隊長同士でよく話し合っておく  
こと。これがなされていないと  
スカウトが困惑する。

3つめは新しい仲間に対して  
自分は何ができるのか考えさせ  
ること。

進歩に関してリーダーにお願い。スカウト技能を  
頑張ったたくさん取得することは素晴らしいことだ  
が、取得して技能帯（たすき）に着けるだけで終  
わってしまっただけでは意味はない。それらのことを他に  
応用してこそ、生きてくることを指導してほしい。

ジャンボリーの年は隊のプログラムがおざなりに  
されがちであるが、このような年こそ基本に戻り、  
素晴らしいスカウティングを展開してほしい。

今年も、頑張ろう！



理事長 森山 一政

目 次	
よりよいスカウティングをめざして	2～3
県V S 大会予告	3
富士スカウト面接	4
東部地区ラウンドテーブル	4
14NJ 情報	4
南部・北部地区指導者講習会	5
作品大募集	6
隊長のひとりごと・・・	7
事務局のうごき	6

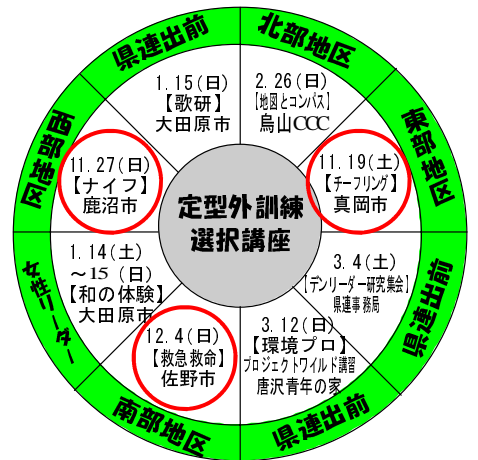
# よきよきスカウティングを目指して

## 成人指導者フォローアップトレーニングプログラムの展開

指導者講習会・ウッドバッジ研修所・ウッドバッジ実修所などの定型訓練とともに、自己啓発によるスキルアップによって隊プログラムは充実し、隊活動が活性化していきます。個々の指導者の訓練ニーズは多様ですが、それを補完するものとして『定型外訓練』があります。

開発委員会では、県連トレーニングチームの研究に基づき、県連と地区との共催により、様々な『定型外訓練：選択講座』を展開しています。参加者相互の学び合いによって講座自体が活性化し、より魅力的にしています。お世話になった各地区開発委員長から下記のような報告が寄せられました。

下半期も魅力的な講座にすべく、現在企画中です。スカウトのため、『未来の大人』のため、大人自身が楽しみながら、磨き合っていくではありませんか！  
 県連開発委員長 白澤 嘉宏



県連出前講座が2つ加わりました。  
 (3月実施) 募集要項にご注目!

## 東部地区「チーフリングづくり」



2005年11月19日(土) 13:00から県連と共催による定型外訓練を実施することができました。櫻井講師(宇18回・団委員長)、そして、アシスタントとして指導いただきました「ギター侍ことおヒゲの宇18回鈴木さん」(本当はギター名人)に感謝いたします。当初、訓練内容をどうしようか思い悩んだ結果、東部地区の結策のプロにお願いし、セミプロ養成かな?など思いつつも、まだまだすごい技能の持ち主がいるとひらめき、今回の「チーフリング作り」となった訳です。

当日、櫻井講師が作成マニュアルを配付後、ゆっくりとチーフリングづくり初体験者。分かりやすく解説いただき、まずは一つ目の試作品を参加者それぞれが作成しました。その後、要領を得た段階でオリジナル・チーフリングづくりにチャレンジ(オリジナル・チーフリングはカラフルな材料:試作品よりやや高い)を使って立派なチーフリングが完成しました。私の完成品は、「ゆるゆる」の「失敗見本」で、今後の作成見本となっています。 東部地区開発委員長 高島 孝夫

## 南部地区「普通救命救急講習II」

佐野地区広域消防本部のご協力で、北部・西部を含む14名の参加で普通救命救急IIを開催しました。可能な限り専門家に委ねることが原則ですが、救急車の平均到着時間の6分ですら待てない、滅多なことでは遭遇しないであろう救命救急。以前に受講した救急講習の手順すら踏めない現状に、AEDの使用が一般に認められた今、我々が活動や日常生活の中で何が為せるのか、為すべきなのか。応急処置と救命救急の違い、そんなことを実感した定型外訓練となりました。 南部地区開発委員長 飯塚 哲史



## 西部地区「簡易ナイフづくり」

「ナイフは男のロマン！」

この訓練を通し、各地区を越えた指導者たちが、知恵と力を合わせコミュニケーションを図ることを目的としました。

開催するに当たり、実行委員会を立ち上げ、材料の調達やタイムテーブル等の計画、また、何よりも安全を考え参加者全員が無事終了することができるようにと念入りに計画を立てました。

作業工程数は少なく、自分の手のサイズに合う形を考え、切断・バリ取り・刃付け・研磨と、簡単な作業ではあるが、思ったようにはいかず、お互いに協力し合う姿や、切れ味を試すための竹串づくり等、その瞬間瞬間に満面の笑みや感動の音が聞こえ、この訓練の成功を感じると同時に、事前の話合いや企画がどれだけ重要なことか実行委員会の大切さが成功へつながると実感しました。



また、企画だけではなく私自身も体験し、皆さんと同じ立場になってみて、新たな指導者としてのニーズを感じ、今後地区として何をすべきか、どのように運用すべきかということを改めて思い起こさせる訓練でした。

西部地区開発委員長 田中 則子

## 栃木ベンチャースカウト大会開催予告



今年度の県VS大会は、3月24日(金)～26日(日)まで、伊豆大島の「東京都連大島一団野営場」にて開催します。

本格的な海釣り・スクーバダイビングを中心に伊豆大島ならではのプログラムも多数用意して県内ベンチャースカウトの参加を待ってます。

一足早い春を満喫し新たなプログラムへ挑戦しよう。

(プログラム委員会)

## 富士章面接

12月3日(土) 委員長会議前に富士面接が行われ、佐野4団ベンチャー隊 慶野勝也くんが、森山理事長・相馬コミッショナーはじめ県連盟面接委員会の面接を受けました。



## 東部地区ラウンドテーブル

11月19日(土) 真岡1団スカウトハウスに於いて、平成17年の反省と来年度に向けての団員確保の為に話し合いを含むラウンドテーブルが行われました。

コミグループによる団訪問の報告の後、今後の東部地区の取り組み方や各

団の取り組み、問題点等、和やかな雰囲気の中で意見交換がなされました。

後半、宇都宮第18団の桜井氏とコミグループの手作り作品を景品にしたゲームで盛り上がり、今年を締めくくりました。

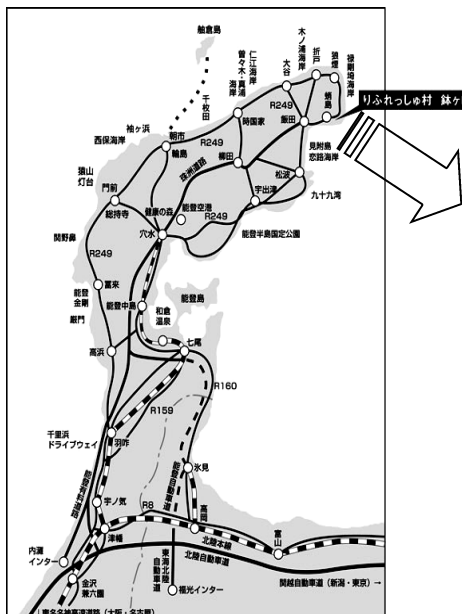
副コミッショナー  
杉本万里子

## 14NJ情報

いよいよ今年8月に石川県珠洲市で開催される14NJの情報をお伝えします。

栃木県からはスカウト関係では、参加隊5隊とVS奉仕隊1隊の編成となります。各隊の隊長は右のとおりです。

地区	隊長名 (所属団)
東部	上久保 隆一 (宇都宮1団)
東部	和良品 文之丞 (宇都宮15団)
西部	福田 英孝 (今市2団)
南部	田名網 学 (安蘇2団)
北部	三堂地 時臣 (矢板1団)
VS	近澤 亘 (小山3団)



## 南部地区指導者講習会

11月26日（土）、北部・西部からの3名を含む計18名の参加を得、出井肇県連TTディレクターを主任講師に、スタッフ計7名で南部地区指導者講習会を佐野市中央公民館に於いて開催しました。

大川地区委員長のあいさつから、和やかな雰囲気の中で各セッションが提供され、最終セッションにはたくさんの質問が飛び出す、真剣味あふれる講習会となりました。経験豊富なベテラン講師と熱意あふれる新人講師の、時にユーモアを交えた口調に緊張感もほぐれ、早朝からの講習もあっという間に閉講を迎えました。すでに指導者として活動をしている者や団委員、R



S、DL、保護者。修了証を交付された表情には、スカウト活動の原理の理解と活動手法に触れ、その可能性に何らかの期待を感じていた様子でした。

地区開発委員としての初めての奉仕に自らも緊張の一日でしたが、多数の参加者を迎え、無事にそのつとめを果たすことができたのは、諸先輩方の支援と助言・指導の賜物と感謝しています。

南部地区開発委員長 飯塚 哲史

## 北部地区指導者講習会

11月27日（日）、北部地区指導者講習会（主任講師：金原雅弘）が、烏山青年の家において開催されました。

当日は、女性4名、男性1名、合計5名の参加者となりましたが、参加者は真剣にメモをとりながら最後まで講師の話に耳を傾けていました。講師及び奉仕の方々ご苦労様でした。

参加者の皆様におかれましては、益々のステップupに期待します。

※ 講師の皆様には青年の家に前泊され、北部地区の方々との懇談会に参加され、BSの歴史に話が盛り上がりました。

北部地区開発委員長  
高野 亘



## 作品大募集！

世界スカウト運動100周年にちなみ、栃木県連盟のシンボルマークを募集いたします。応募要領は次の通りです。

### [目的]

世界スカウト運動100周年と、栃木県連盟長に福田富一知事を推戴したことを記念して『とちぎ』のシンボルマークを制定することになりました。

今後、県連盟の象徴として、ネッカチーフなどのオリジナル製品に用いるものとします。

### [規格]

#### 1 マークデザイン

応募者本人の制作による図柄で、ボーイスカウト栃木県連盟を象徴するにふさわしい意匠のものであること。

#### 2 ネッカチーフのデザイン

上記のデザイン図柄を最も美しく表現した配色(背景色と線の色)であること。

### [審査]

県連盟が主催する審査委員会において、最優秀と認定された作品を採用する。採用作品は表現の都合上、形状・寸法等を変更する可能性があるが、入選作品の著作権は栃木県連盟が所有するものとする。

### [表彰]

最優秀賞 1点(3万円相当の記念品)

優秀賞 2点(1万円相当の記念品)

### [応募方法]

1枚の用紙に1作品(パソコンデータでも可)とし、県連盟事務局へ2月20日までに提出すること。



## 隊長のひとごと……

### 風を読む

本団にビーバー隊が創設されて6年目を迎えることができた。隊長になったとき、既に四十の半ばを過ぎ、不安でいっぱいだった。しかし、素晴らしい指導者スタッフに恵まれ、不安をみんなで分かち合い、できうる限り最高のプログラムと指導者の意欲で乗り越えようというエネルギーに支えられ、現在に至ることができた。

ビーバースカウトは、スカウト活動のスタートであり、しかも活動意欲に溢れている。しかし、興味関心は瞬間的に移りゆく年代である。かれらの興味関心を引きつけ、集会活動への参加意欲を持続させることをプログラミングのポイントとした。

また、隊の活動を支える基盤として、スカウトの期待、保護者の願いを大切に、プログラムの実践を通して、評価・改善するための指導者の組織力が不可欠である。隊長とし



て恵まれていたことは、情報収集力、プログラム開発力、緻密な企画力、集会の運営力等、優れた資質のリーダーの支えがあったことだ。

そのために、各集会のプログラムの企画と運営案を全ての指導者が分担している。指導者の着眼点や創造力も大切である。それが風を読むことである。(風はあらゆる方向から吹き、しかも強弱や寒暖もある。)

そして、ビーバー通信も重要な役割を果たしている。前回の集会の紹介で思いを想起させ、今回の集会トピックを伝え、参加意欲を引き出す。さらに、集会のアンケートやスカウトの感想を聞き、集会プログラムの評価を分析・改善している。それは、「ああ楽しかった。」「隊長、もっとやりたいよ。」のことばを聞き、スカウトの笑顔という爽やかで温もりのある風に吹かれたいために。

これからも集会への期待と緊張感がある限り、指導者としての活動に生き甲斐を感じ、歩んでいこうと思う。

佐野4団ビーバー隊長  
津布久 義秀

## 事務局の動き

平成17年

- 11月 5日(土) 理事会
- 11月11日(金) 15TC反省会
- 11月12日(土) とちぎ教育の日振興大会
- 11月18日(金) コミッショナー研究集会
- 11月19日(土) 定型外訓練(チーフリング) 真岡市
- 11月26日(土) 南部地区指導者講習会 佐野市
- 11月27日(日) 北部地区指導者講習会 烏山町
- 11月27日(日) 定型外訓練(ナイフ) 鹿沼市
- 12月 3日(土) 各種運営委員長会議・富士章面接
- 12月 4日(日) 定型外訓練(救急救命) 佐野市
- 12月18日(日) 県ベンチャースカウト大会事前説明会
- 12月24日(土) 組織委員会

今後の予定

【平成18年】

- 1月 7日(土) 新春の集い(団役員・指導者研修会) 高根沢町
- ~ 8日(日)
- 1月 8日(日) 理事会
- 1月14日(土) 女性リーダーの集い 大田原市
- ~ 15日(日)
- 1月15日(日) 定型外訓練(ソング) 大田原市
- 1月29日(日) 14NJ2SC会議
- 2月 4日(土) 各種運営委員長会議
- 2月 5日(日) 西部地区指導者講習会 今西市
- 2月22日(水) デンリーダー研究集会打合せ会議
- 2月26日(日) 組織委員会
- 3月 4日(土) デンリーダー研究集会
- 3月11日(土) トレーニングチーム研究集会 唐沢山
- ~ 12日(日)
- 3月12日(日) 定型外訓練(環境) 唐沢山



作:をかもと ㊄

発行責任者 日本ボーイスカウト栃木県連盟理事長 森山一政 / 編集責任者 組織委員会委員長理事 黒崎博孝 発行部数 2500部

日本ボーイスカウト栃木県連盟 機関紙

320-0043  
 栃木県宇都宮市桜四丁目2番2号  
 電話 028(621)9800  
 Fax 028(621)9800  
 Email bstochig@m14.alpha-net.ne.jp  
 info@scout-tochigi.jp

ホームページもぜひ見てください。  
<http://www.scout-tochigi.jp>



「男体」は地球環境にやさしい大豆を原料としたインク(SOY INK)を使用しています。